

まちで見かけるあんなものにも税金が税金の大切さや使い道を学ぶ

上林小学校で5、6年生を対象に租税教室が行われました。どのような施設に税金が使われているかという問題にはみんなで相談しながら全て正解。また、1億円の見本10kgあるトランクを持ち上げ1億円の重さも体感しました。子どもたちは、楽しみながら身近な税金について学ぶことができました。



心と体を元気に秋のウォーキング大会を開催

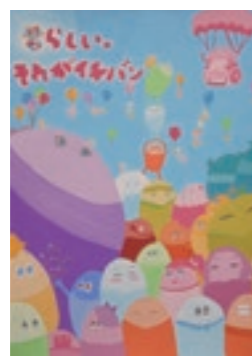
11月22日、とうおん健康づくりの会の秋のウォーキング大会が行われました。距離はトレーニングセンター（田窪）からツインドーム（西岡）までの往復6km。参加者の中には92歳の方も。久しぶりの参加者は「気温がちょうど良かった。友人と楽しく話しながら、良い運動ができた」と開催を喜ぶ声が聞かれました。



いざというときに備えて東温市総合防災訓練

11月27日、市内の各地区で総合防災訓練が実施され、拝志小学校では初めてペット同行避難訓練が行われました。専用の受付を済ませた後は、愛媛県獣医師会やNPO法人えひめイヌ・ネコの会の皆さんからマイクロチップの取り付けや日頃のしつけの大切さを教えてもらいました。上林小学校では災害時に活用されるドローンの飛行訓練、松山刑務所では福祉避難所の設置運営訓練などが行われました。

んからマイクロチップの取り付けや日頃のしつけの大切さを教えてもらいました。上林小学校では災害時に活用されるドローンの飛行訓練、松山刑務所では福祉避難所の設置運営訓練などが行われました。



宮岡さん(左)と黒川さん(右)の作品

小中学生がW受賞 人権ポスター特選作品発表

市内在住の宮岡煌太さん(写真左・南吉井小3年)と黒川芽愛さん(写真右・川内中3年)が人権ポスターで特選を受賞しました。差別や偏見をなくそうと県内の小中高生が応募した人権ポスター。約4万点の応募

募の中で特選に選ばれた作品はわずか5作品。宮岡さんは「細かいところまで時間をかけて作りました」と話しました。黒川さんは「丸みを帯びたデザインで優しい印象に仕上げました」と話しました。

こちらはさくらこども館前でピッと押したらバス止まります

さくらこども館で、伊予鉄バス(株)の皆さんによるバス乗車体験が行われました。子どもたちにとって歌や絵本でよく馴染みのあるバス。バスの乗り方を教えてもらった後は、カードを機械にかざしたり、運転席に座らせてもらったり、ボタンを押したりと子どもたちは興味津々でバスの乗車を楽しみました。



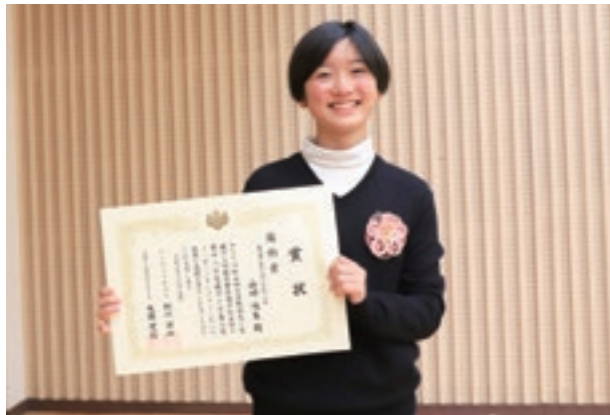
子どもから大人までみんなが参加 下林でイベント続々

下林地区で秋の各種イベントが行われました。運動会は地区の老若男女が参加しました。組がチームになってかけっこやリレーなどを競い合い、参加者は汗を流しました。

敬老会では、地元小学校の子どもたちの自己紹介や運動会などのビデオや獅子舞を鑑賞して、楽しいひとときを過ごしました。

県人権メッセージコンテスト
川上小6年生が奨励賞受賞

第18回愛媛県人権メッセージコンテストで山崎咲良さん(川上小6年生)が奨励賞を受賞しました。今年、同コンテストに応募されたメッセージは約2万点。「今日も1日おつかれさま」という題で書かれたメッセージは中予地区大会では最優秀賞を受賞しました。山崎さんは受賞に喜びの表情を見せてくれました。



子どもたちに人気のユニット
ぽんぴんずが園児とふれあい

四国乳業(株)が主催した「ぽんぴんず」が市内の幼稚園等を訪れ歌と踊りを楽しみました。「ぽんぴんず」は歌のお姉さんの3人ユニット。子どもたちと一緒に作る参加型のコンサートを開催しています。北吉井幼稚園では、園児たちがオリジナル曲や聞き馴染みのある曲を歌ったり、ぴよんぴよん跳ねたりしながら楽しい時間を過ごしました。



愛媛のプロスポーツ選手が集結
支援学校で50周年記念イベント

みなら特別支援学校の高等部の皆さんにスポーツの楽しさを味わってもらおうと、愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、愛媛プロレスの皆さんからそれぞれ教えてもらい

ました。

各クラス40分程度の時間でしたが、生徒の皆さんは「難しい」と試行錯誤しながらも、プロ選手の話真剣に聞き、選手とのふれあいを楽しみました。



糖尿病予防と治療継続に向けて
PHC(株)でブルーライトアップ

11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、PHC(株)診断薬事業部は敷地内の技術棟でブルーライトアップを実施しました。当日の点灯式には徳永博之事業部長が「これからも従業員と共に、糖尿病ケアに尽力します」と話しました。点灯式には愛媛県糖尿病協会会長なども参加し、糖尿病予防と治療継続の重要性を広く呼びかけました。



地域の皆さんと全校児童で
上林小学校でもちつき

上林小学校でもちつきが行われました。自分たちで苗を植え育てたもち米を使ってもちを作ります。地元の人たちから、もちのつき方や綺麗な丸め方を教えてもらいながら最後は美味しく頬張っていました。参加した児童は「上林だからできる貴重な体験だと思う。もちつきができて嬉しい」と笑顔で話しました。



小学校最後の思い出を形に
川上小学校セルフ写真館が開館

川上小学校のPTAの皆さんが主催する第2回家庭教育学級が行われました。今回は6年生のキャリア教育も踏まえ、小学校生活の楽しい思い出を残せるように企画したそう。撮影は自分たちのタイミングで

シャッターを切ります。セーラー広告(株)のデザイナー大森潤哉さんと映画のメイキング撮影を数多く手掛けるカメラマンの豊田晃佳さんからアドバイスをもらいながら思い思いのポーズで撮影しました。